



く ん せ ん

薫 泉

学校の目標
社会の変化に自ら対応でき、豊かな心をもち、表現力豊かな国際人を目指し、次のような子どもを育成する。
・よく考え、進んで学習する子ども
・いつも元気で、じょうぶな子ども
・こころ豊かで、やさしい子ども

独自教科「おおたの未来づくり」

校長 井上 光広

本校は大田区教育委員会より研究推進校として指定を受け、昨年度より独自教科「おおたの未来づくり」について研究を深めてきました。十一月二十七日（月）には研究発表会を開き、大田区全小学校に向けての情報発信をすることになっていきます。

さて、六月は教科「おおたの未来づくり」に関する授業研究を校内の教員で三回、大田区教育研究会情報教育研究部会で一回の合計四回行っています。その内容を簡単に紹介します。

（三年生）

社会科「町ではたらく人」

サミットストアにご協力いただき、店長さんによる事前出前授業。その後の店舗見学。こうした学習過程の中で、人と対話する技術を高め、ワールドカフェやジグソー法といった学び合い技術を身に付けていく。そのことが教科「おおたの未来づくり」の学習習慣素地作りとなる。

（五年生）

総合教科「野菜ノベーション 矢口ノベーション」【Aものづくり】

四年生の時に安方商店街で「ソーブディッシュ販売」を行った学年。その時の売上金で野菜の種・苗を購入。育てた野菜をどのようにしたら付加価値を生み出し、確かな製品として販売できるかを

専門家の意見を参考にしながら試行錯誤していく。
（六年生）

総合教科「伝えよう矢口の歴史、地域の良さ 未来につなげ商店街プロジェクト」【B地域創生】

六年生が地域創生について考えたのは、やはり町のメインストリートである商店街を活性化させること。今回は昨年度の六年生が行った「商店街紹介動画」をバージョンアップさせ、よりレベルの高い内容で製作していく予定。

（二年生）

生活科「とび出せ 町のたんけんたい」

高学年で学習する「地域の創生」に向けて、二年生の学習内容である「町たんけん」は、矢口渡地域のことに興味をもち、関わりを深め、地域への愛着を育むという点で、重要な素地づくりとなる。

なお、校内研究授業の教員への指導は、文部科学省教科調査官の齋藤博伸先生が三週にわたって御来校くださり、理論付けしていただきました。全国を回って日本の教育向上に尽力してくださっている齋藤先生が毎週来てくださるほど、教科「おおたの未来づくり」は意義ある取組なのです。

【お知らせ】

◎PTAの新たな取組として「ソフトボール大会」を七月二十二日（土）に行うことになりました。PTAのスローガンは「0から1を創る」なので、まさにその考えから生み出された行事です。◎お父さんクラブ主催「学校へ泊まろう」の取組も四年ぶりに復活します。六年生有志が体育館に泊まります。

◎サマーワークショップにもぎやかに開催されます。主催者と参加者共に、自己実現できる楽しい場となります。

◎校庭出入口二階にミストを設置しました。保健室前の水道から水を出すと霧状の水が降り注ぎます（出水は一ひねり程度）。夏の校庭での行事の際には、熱中症対策としてご活用ください。

七月の生活目標

生活指導部

『安全な生活をしよう』

少しずつ気温が高く雨も多くなり、蒸し暑い季節になりました。今月の生活目標は「安全な生活をしよう」です。梅雨の日の教室遊びや廊下の歩き方、熱中症対策のためのこまめな水分補給など、子どもたちに事故やけがを未然に防ぐために何が必要か声を掛けていきます。特に熱中症は即、命にかかります。小まめな水分補給と共に、体育や屋外活動、登下校では、マスク着用は自己判断となりましたが、極力マスクは外して熱中症予防に努めてください。

また、水泳の学習が始まりました。水難事故から身を守るためにも大事な学習になりますので、安全に十分配慮ながら、充実した水泳指導を行います。

あゆみについて

教務主幹

一学期も残すところあとわずかとなりました。今学期も子ども達は、学習、生活、学校行事等、様々な場面で目標に向けて努力をし、多くの成果を挙げました。その様子を、通知表「あゆみ」にてお知らせします。ぜひ、お子様と一緒にご覧になり、次学期に向けて褒めたり、励ましたりしていただければと思います。通知表「あゆみ」が、子ども達にとって希望の指針となることを願っています。

通知表ファイルの中に、四年生以上には、大田区学習効果測定の結果、三年生以上には、WEBQの結果も合わせて入れさせていただきます。ご活用ください。

※「BO」とは、いじめ・不登校の可能性の高い児童を早期に見出す指標となる心理テストです。

※二学期始業式の日に、通知表ファイル（中身は抜き取らずそのまま）を持たせてください。